

総務委員会（7月19日～21日）

横浜市：身近な地域・元気づくりモデル事業について
 浜松市：公立大学法人静岡文化芸術大学について
 姫路市：国民健康保険の運営について



横浜市

横浜市は、魅力があり暮らしやすい地域をつくっていく住民の主体的な取り組みについて、モデル地区を指定しながら支援をしています。今年度から、地域の取り組みに地域運営補助金を創設し、継続的に課題解決に取り組みめるよう支援の機能強化が図られます。

静岡文化芸術大学は、静岡県と浜松市、地元産業界が協力して公設民営方式で開学し、22年に公立大学へ移行。野学を重視し、地域に開かれた大学として学生や市民の視野を広げる公開講座など、福山市立大学と同様、地域と連携し取り組んでいます。

民生福祉委員会（7月11日～13日）

豊橋市：「こども未来館ここに」について
 富士宮市：障がい者、高齢者の総合相談窓口について
 板橋区：生活保護自立支援について



豊橋市

富士宮市では、障がい者や高齢者、生活困窮者等は、初期相談において担当課ごとにたらい回しにされ、大変な時間を要していましたが、15年からワンストップの相談窓口を開設し、その後の組織再編後は各課での聞き取り時間が大幅に短縮され、限られた人員の中で効率的な運営をしており、本市の初期相談業務の参考となりました。

常任委員会の視察報告

建設水道委員会（7月19日～21日）

鹿児島市：自転車走行環境整備事業について
 熊本市：市営住宅の整備における取り組みについて
 下関市：上下水道局の統合について



鹿児島市

鹿児島市では、中央駅を中心に3路線が整備されるなど、安全な走行を確保した空間を創出しました。本市でも社会実験を行い成果と課題を抽出したところで、今後の整備を検討する上で参考にしました。

熊本市では、老朽化した市営住宅の建て替えやシルバーハウジングの取り組みを視察しました。下関市では、上下水道局統合の効果と課題について意見交換を行いました。24年度の統合に向け準備を進める本市にとって、調整項目や市民サービス向上への取り組みなどを参考にすることができました。

文教経済委員会（7月19日～21日）

福井県：学力向上策の取り組みについて
 大津市：市民への環境啓発について
 高槻市：小中一貫教育について



大津市

福井県は、国が実施している学力テストで毎年上位にランクされる県です。子どもたちの教育は学校だけで担えるものではなく、地域や家庭の力が重要であることを実感しました。

大津市では、複合施設「明日都浜おおつ」の中の環境学習情報室で、市民の環境意識の啓発について調査しました。高槻市では、小中一貫教育等について視察、調査しました。

編集後記

今年には猛暑の中、電力不足が懸念され、節電が叫ばれた一方、台風12・15号が上陸し、各地に甚大な被害をもたらすなど、自然の猛威と闘った夏でした。

本市では、被災地へ職員を派遣するなど、災害・復興支援を進める一方で、9月議会において、安心・安全の実現に向けた施策を審議したところです。

これら市議会の活動をお伝えする広報紙として、より内容を充実できるよう編集委員全員で取り組んでまいります。（井上）



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

【メールアドレス】

gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp

印刷／福山エビス印刷(株) ☎084-954-2200